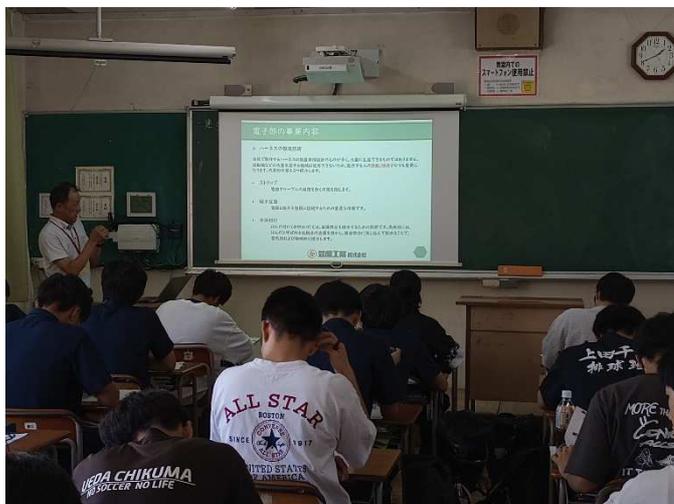


DX 企業講話 笠原工業株式会社 様



講師

笠原工業株式会社 電子部技術課長 土屋 様

講話内容

- ・ 地域企業における DX の取組
- ・ 講師のキャリア、会社紹介、会社の文化財、事業内容、今後の取組み など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと等】

- ・ 創業 124 年の会社。
- ・ 電子部、合成部、AB 部、精密加工部の 4 つの事業がある。
- ・ 電子部ではハーネス（ケーブルアッセンブリ）の設計／製作をしている。
- ・ （製作された）ハーネスの 8 割は半導体製造装置に使用される。
- ・ 半導体はスマートフォンから人工衛星まであらゆるものに使用されている。
- ・ 半導体とは条件によって電気を通すか通さないか変えられる物質をいう。
- ・ デジタル社会を支える製品を設計製作して社会に貢献している。

【感想】

- ・ 半導体はスマホやテレビなどの身近なもののほとんどに使われており、その半導体に必要不可欠なケーブルを製作しているので今の社会にはなくてはならない技術だと思った。
- ・ 正直半導体についてしっかりと知らなかったのととてもよく知ることができました。ハーネスについても今日学んだこと以外にも使われている場面を知りたいと思いました。

- ・地元企業の製品が自分たちの生活にどうやって関わっているのかが気になりました。こうした企業が縁の下の力持ちとなって私たちの生活や日本の産業を支えているのかなと思いました。
- ・124年も続いてデジタル社会を支えてくれている会社を知ることができてよかった。
- ・今回笠原工業さんの説明で、実際に製品を見してもらって、とてもすごいと思いました。細かい作業で難しい仕事をしていて尊敬しました。
- ・地元には昔からある企業さんなので、歴史とともにどういう変化をしてきたのかさらに知りたくなった。
- ・創業 124 年の長い歴史の中で産業遺産や、文化財に指定されているものがあることにおどろいた。半導体など現代の科学技術にはかかせないものにつながる製品を作っている会社の技術力も長い歴史で培われたものだと分かった。
- ・半導体がないと世の中がまわっていかないとしました。
- ・中学でおこなった半田付けを使っていたりなど思ったよりも自分が知っている方法でユニットなどをつくっているんだなと思った。
- ・ほとんど手作業でやっているのに半田付けや端子圧着がまるで機械のような速さでキレイにやっていてすごいなと思った。
- ・将来こういう技術を身に付けて社会に貢献できるようにしていきたい。